

審査基準[RPA導入支援業務]

項目		基準
事務局審査	記載項目	実施要項にある「記載必要事項」の全てについて、提案がされているか。
	業務実績	本業務と同種・類似業務の実績があるか。特に国、自治体への実績があるか。
	事業工程計画	作業項目とフローが適切で作業期間が具体的に提示されているか。
	見積金額	配点×(全事業者中最低見積額)/(見積額)
選定委員審査	全体	提案書の中身が分かりやすく、説得力があるか。
		事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にあるか。(コンセプト等)
		基本仕様書記載以外の有益な追加提案があるか。(効果的な手法や魅力的な提案)
	業務実施体制	管理責任者や従事者等の適正な人数配置や市と提案者の適正な役割分担が、具体的に提示されているか。
	業務の進捗管理	本業務の進捗管理方法の提示があり、スケジュール遅延への対応等について、具体的な提案があるか。
	導入RPAソフト	職員によるシナリオ作成・修正等が容易か。
		他のソフトより、利点があるか。(他製品との比較、実績、コスト、性能等)
		今後の導入拡大についての優位性があるか。(ランニングコスト・機能等)
	業務プロセス分析・改善(BPR)	対象業務に対するヒアリング調査について、適切で効果的な手法が提案されているか。
		RPA導入効果を最大化するための、業務プロセスの見直し(BPR)について、効果的で、具体的な提案があるか。
		効果検証について、適切で具体的な提案がされているか。
	シナリオ作成	導入部署職員の、負担軽減の具体的な提案がされているか。
		現在、RPA知識を有しない職員であっても、継続的なシナリオ作成やメンテナンスを行え、内製化が進むような提案があるか。職員の成長が促されるか。(負担とのバランス)
		問合せ等に対する迅速な対応が期待できるか。
	職員研修	職員研修の方針や体制について、効果的で、具体的な提案がされているか。
	導入後の庁内運用ルール策定	自治体業務にRPAを導入し、継続的に利用していく上での課題やその対策などが整理されているか。
プレゼンテーション	取組意欲が高く、熱意が感じられるか。説明に説得力があるか。質問に対し、正しい受け答えができているか。	
その他	別に導入する予定のOCRソフト及びスキャナーについて、適切なアドバイスが期待できる提案があるか。	
	次年度以降の対象業務拡大について、効果的な提案があるか。	

事務局審査項目は、提案書の内容で審査を行い、選定委員審査項目は、プレゼンテーションも含めた提案全体で審査を行う。